



# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を」  
Engage Rotary Change Lives

2013-14年度 RI会長/ロンD.バートン RI.D2590ガバナー/市川緋佐磨 横浜旭RC会長/安藤公一

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F  
TEL.045-365-3273  
FAX.045-365-3132  
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp  
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン  
例会日 毎週水曜日/12時30分~1時30分



2014年3月5日 第2141回例会 VOL.45 No.33

- 司会 SAA 後藤 英則
- 開会点鐘 会長 安藤 公一
- 斉唱 君が代、奉仕の理想
- SL 佐藤 真吾

### ■出席報告

会員数	33名	本日の出席数	27名
本日の出席率	96.42%	修正出席率	100%

### ■本日の欠席者

松本

### ■他クラブ出席者

鈴木 (横浜瀬谷 RC)、内田 (宮古島 RC)、  
新川、五十嵐、北澤 (地区)

### ■3月誕生記念祝



田川 富男	3.30
千葉 和裕	3.21
市川 慎二	3.9

### ■会長報告

先週は春らしい暖かさが始まった気配があり、金曜日などは半袖でゴルフができるのではないかと陽気でしたが、今週は寒さが戻りまた冬に逆戻りしたようです。寒暖の繰り返りとなり体調を崩しがちとなります。皆様御身体にお気をつけ頂きこれからも元気に

お過ごし頂きたいと思えます。

冬季オリンピックも終わり、日米ともに野球やサッカーの話題が世間を騒がす季節となってきました。ニューヨークヤンキースに移籍した田中投手のオープン戦初登板では見事な内容でした。今後の活躍を期待したいと思います。また、サッカーワールドカップブラジル大会もあと3ヶ月と迫ってきました。楽しみです。因みにラグビーワールドカップは2015年イングランドで開催されます。

冬季パラリンピックソチ大会が今週末より開催されます。ソチのすぐ隣のウクライナではロシア軍のクリミア半島への侵攻などで少しきな臭くなってきています。何とか無事にパラリンピックが進められるように祈るばかりです。プロレスの人間風車として有名なビル・ロビンソン氏が75歳でお亡くなりになりました。1975年のアントニオ猪木との引き分け試合は今も語り草となっています。ご冥福をお祈りします。

今月は国際ロータリーの識字率向上月間です。今日は、吉野さんの卓話です。宜しくお願い致します。

### 地区関係：

- 1) 3/4 次年度地区研修協議会リーダー・サブリーダー打合せ会に新川さんにご出席頂きました。お疲れ様でした。
- 2) 明日、3月6日(木)は第4、第5グループのIMです。場所は桜木町のハマギンホール、ヴィアマーレ、登録が12:30から点鐘は13:30となっています。田中作次直前RI会長のお話楽しみです。

3) 3月29日(出)にローターアクト主催のインターアクト卒業式の案内が参りました。場所は捜真女学校 9:00～16:30 です。青木さんがご出席予定です。

4) 第一、第二、第三ゾーン合同の会員増強セミナーが3月19日(水)10時～16時にホテルオークラで開催されます。その案内が地区よりまいりました。当クラブの例会時と重なりますが、私が出席する予定です。その際の例会は増田次期会長にお願い致します。

5) 3月16日(日)10:30～16:00 聖光学院にてロータリーセミナーが開催されます。私と二宮麻里子さんが参加予定です。

6) 恒例の地区協議会が4月13日(日)東京都市大学横浜キャンパスで開催されます。次年度の各委員会の委員長の方はご予約ください。

7) 3/18 会長エレクトセミナーです。増田さん宜しくお願いします。

#### クラブ関係：

1) 本日は、18時半より理事役員会です。理事役員の方々はこちらご予約ください。

2) 3/26 例会終了後次年度理事役員会です。次年度の理事役員の方、ご予約ください。

3) 3/26 に事務局佐藤さんがお休みとなりますので、予めご承知おきください。

#### ■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

日時 3月18日(火)→定款により休会

2) 横浜西ロータリークラブより

「いのちを育む植樹フォーラム in 横浜」

東日本大震災復興支援、横浜市西区制70周年記念事業並びに当クラブ55周年記念事業の一環として開催致します。

日時 4月8日(火)13時30分～16時30分

場所 横浜市健康福祉総合センター

横浜市中区桜木町1-1

#### ■親睦委員会

佐藤 真吾

○第20回希望ヶ丘大番寄席

若手華の競演 VOL.5

日時 3月9日(日)14時開演 16時終了予定

場所 希望ヶ丘「大番」

相鉄線希望ヶ丘駅徒歩5分

木戸銭 前売 予約2,000円 当日2,200円

\*終演後懇親会別途3,000円

出演)金原亭駒松、金原亭馬吉、鈴々舎八為馬  
会員皆様のお越しをお待ち申し上げます！

#### ■社会奉仕委員会

千葉 和裕

○横浜パレード参加のお願い

先週例会で報告しました畠山重忠公生誕850年を記念しました、5/3に開催されます

第61回横浜パレード参加の件ですが、お陰様で安藤会長、福村幹事、二宮会員、兵藤会員、後藤会員、五十嵐会員、内田会員、漆原会員、市川会員、太田会員そしてナムフォンさんの12名が参加希望の手を挙げて下さいました。武具甲冑姿でのパレードとなりますので、衣裳のレンタル料が襦袢、甲冑、帷子、そして着付け迄含めると通常一人当たり3万円前後の費用がかかるころ、二宮会員のお力で全て含め1万円で話を進めて頂きました。プラス食事代が個人負担となりますので、宜しくお願い致します。

#### ■二宮会員より

東アフリカ12ヶ国SADCのNEW YEAR PARTYにヨコハマストロベリーを持参し紹介しました。チベサクンダ大使夫人(左)とZAMBIA大使公邸にて



#### ■ニコニコBOX(会員敬称略)

安藤 公一/吉野さん卓話宜しくお願いします。

福村 正/吉野さん、卓話宜しくお願いします。

吉野 寧訓/今日はつたない話をさして戴きます。

五十嵐 正/吉野さん、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお祈りします。

佐藤 真吾/吉野さんの卓話楽しみです。

安藤 達雄/吉野さん、卓話楽しみに聞かせて頂きます。

千葉 和裕/①関口さん、我が家の給湯器を超破格値で入替して頂き有難うございました。

②誕生祝いを頂いて。③吉野さん、卓話楽しみです。

内田 敏/吉野さん本日の卓話楽しみにしています。

太田 勝典/吉野さん、卓話楽しみです。

市川 慎二/①誕生祝いを頂きましてありがとうございます。3月9日で39歳になりました。サンキュー。②吉野さんの卓話楽しみです。

吉原 則光/吉野さん、本日の卓話大変興味深く期待しております。よろしくお祈りします。

田川 富男/①吉野さん、昭和の卓話宜しく

お願いします。②時計は止まりません。誕生祝いを頂きました。ありがとうございます。

齋藤 善孝／①吉野さん卓話楽しみです。②先週、鹿児島県にある海上自衛隊の鹿屋基地と知覧の特攻基地を見てきました。涙流さずにはられませんでした。

青木 邦弘／①吉野さん、私の生まれる前の話をいただき楽しみにしています。②ひなまつり、二宮さんにナムフォンとお世話になりました。

増田嘉一郎／吉野さん、卓話の担当をいただき本当にありがとうございます。楽しく聞かせていただきます。

二宮 登／東アフリカ12カ国「SADC」のニューイヤーパーティーに、ヨコハマストロベリーを持参し、紹介してきました。

北澤 正浩／吉野さん、卓話よろしくお願ひ致します。

岡田 清七／吉野会員の卓話、昭和天皇、マッカーサーのお話、楽しみに聞かせていただきます。

#### ■卓話「昭和天皇とマッカーサー元帥」

吉野 寧訓



今迄、再三お話して来ました通り、4～5年前から寒さに当たると声が出なくなる病がありますので、お聞きづらいことと思いますが、どうぞご容赦下さい。

ところでマッカーサー元帥とは何かと御縁がある様に思いますので、今日は元帥にちなんだ話をさして戴きます。

何故かと言いますと、終戦の年に徴兵検査が近づいて来ましたので、偏平足の私は陸軍にとられるよりも楽が出来ると思い、海軍の予備練習生を志願しました。

一応、試験はありましたが、幸い合格しまして3月20日に厚木航空隊に入隊しました。そこで6か月辛抱すれば2等兵曹となり、実施部隊でゼロ式戦闘機のエンジン整備の指揮をとることが出来る楽しみがありました。

しかし入隊してみますと午前中は防空壕の

手直しとか草刈りとか、洗濯とかの雑用におわれ、午後からは銃剣術その他くだらない訓練が色々あり、肝心なエンジン整備の勉強は週のうち僅か2時間位で、こんな事をしていて戦争に勝てるかしらと思っておりました処、忘れもしない昭和20年8月15日正午、昭和天皇の甲高い玉音が拡声器を通して放送されました。

それが終戦の詔勅と分かりましたのは厚木航空隊の司令であった小蘭安名（こぞのやすな）大佐がその時から徹底抗戦を叫びましたし、従来より同基地はカミカゼ特攻隊の訓練基地であった事もあって、同調者が生まれるやら、一方で反対するやらで、蜂の巣を搔き回した様な状態になりました。

そこで8月20日頃と覚えておりますが、高松宮宣仁（のぶひと）親王が厚木に来られまして、「夏場所で負けても春場所があるではないか」と諫められ、一応おさまる様に見えましたが、後顧の憂いを除くためにくだんの司令は既往症のマラリヤを理由にとある病院に強制収容されました。

なお話は戻りますが、昭和20年7月6日アメリカのニューメキシコ州アラモ・ゴールド砂漠では、アメリカが極秘に開発していた原子爆弾のテストが行われましたが、その結果は爆発で発生するエネルギーはTNT火薬2万トンを上回り、爆発時間の閃光は180マイルの彼方でも確認され、爆煙は41,000フィートの高さまで達したとされており、その威力はポツダム宣言の中にそれとなく盛り込まれておりました。

従いまして日本でも理学博士の仁科芳雄さんなどは既に原爆の研究をされておりましたので、ポツダム宣言を読める立場にあれば被害は事前に防げたのかもしれませんが。

何分にも原爆の被害は昭和20年8月6日の広島と9日の長崎を合わせると死傷者は214,600人に達しますので、罪深いものを作ったものだと思いますが、利点としましては原爆のお陰で日本の指導者がポツダム宣言を急いだことと、ソ連もアメリカの言う通り、日本占領の野望をあきらめた事が挙げられます。

しかしこの時アメリカの持っていた原爆は使い切ってゼロでした。

話をもとに戻しまして、厚木の航空基地はマッカーサーの進駐の直前に反乱が鎮圧したばかりでもあるし、関東には本土決戦のために22個師団30万人の完全武装した無傷の日本軍が展開していましたので、先遣の第8軍司令官アイケルバーカーなどは日本軍のゲリ

ラやテロを恐怖しておりました。マッカーサーは日本軍人の武士道を信じ、拳銃さえ持たずに昭和20年8月30日午後2時5分、厚木に進駐し、横浜のニューグランドホテルに入りました。

なお当初マニラでの事前折衝の折にはGHQ(総司令部)は横浜税関ビル、マッカーサーの宿舎は葉山の御用邸と決められておりましたが、幕僚たちは承知せず、首都占領こそが勝利者の名誉だとして皇居を開放し提供するよう要求しました。

しかし当時の渋谷区区長でのちの都の副知事であった磯村英一さんは、「宮城は既に爆撃で炎上していて天皇と皇后は図書館で寝起きしている事と宮城は単なる両陛下の住み家ではなく古来より日本国の安寧を神に祈る神聖な場所であること」をGHQ民政局に進言しまして、幸いなことにマッカーサーは9月8日アメリカ大使館に移り、GHQは第一生命ビルに入ってくれましたので、マッカーサーの懸命な選択は皇室の安泰と共に日本人の心を気傷つけることなく終えました。

なおマッカーサー元帥の日本進駐後に最初に手掛けた事は9月2日の降伏文書調印式でした。この調印式はアメリカ戦艦ミズリー号で行われました。日本軍の無条件降伏やポツダム宣言の誠実な履行をアメリカ、イギリス、ソ連、オーストラリア、中国などの関係者の前で誓約する事でしたので、このような屈辱的な文書に署名することは末代の恥として誰もが嫌がりましたが、結局重光葵(しげみつまもる)外務大臣と梅津美治郎(よしじろう)参謀総長が全権代表となり、午前9時それぞれが署名をなし各連合国の署名を含め凡そ20分で終了しました。

マッカーサーは「日本や多くの国々が世界の平和の維持に参加することを悦びとする。ここに戦いは終わり、恩讐は去った。神よこの平和を永遠に続けさせ給え。」と言い残して艦上から去りましたが、天皇は重光外相からこの調印式の模様をお聞きになり、マッカーサーの日本に対する思いやりと寛容さに感動されました。

しかし同じ日の午後4時、鈴木九萬(すずきただかつ)終戦連絡局横浜事務局長のところへ連合軍参謀次長マーシャル少将から呼び出しがあり、GHQは近く東京へ移転することと、①日本の貨幣は認めない故、今後は米軍の軍票を使用すること。②なお住民はポツダム宣言によって軍事管理のもとにおく、即ち軍政をひく。③英語を公用語とする、等の通

告があり、翌日9月3日には日本国民に公示すると言われました。事の重大さに驚いた事務局長は上司の岡崎勝男事務局長官と重光葵外務大臣に知らせました。

言うまでもなく日本政府は急遽閣議を招集し、どう対処すべきか討議しましたが、結論が得られず、とにかく明日の公示だけは延期して貰うしかないという事になり、東久邇宮(ひがしくにのみや)首相から是非にという依頼で、岡崎勝男事務局長官がGHQのサザランド参謀総長に会う外はないとニューグランドへ駆けつけました。しかし時刻は夜の12時をまわっておち、どの部屋も寝静まっていた途方にくれましたが、とにかく国家の存亡がかかっていること故ここぞと思う部屋を叩き起して探した処、運良くマーシャル少将がみつきり、なんとか取り計らってみると、快い返事を貰いました。

東京に戻ったのは午前5時を回っていましたが、重光外務大臣は寝ずに待っていてくれましたので、その足で9月3日午前8時、今度はマッカーサー元帥を説得する為に出向きました。

元帥は暫く考えた末にこの布告は自分の権限でとり止めにすると言ってくれましたので、戦後最大の難局からやっと逃れることが出来ました。

話しは違いますが、マッカーサーの右腕だったホイットニー民政局長は自分たちの憲法草案を採用しなければ天皇は戦犯になるかもしれないとおどしました。

何故かと云いますと、天皇制を存続させる為にはそれを規定した憲法改正案を極東委員会の発足までに完成させる必要がありました。

そこで昭和21年2月3日、マッカーサーは「いつまでも日本政府に任せていたのではラチがあかない。こちらで考案することにした。憲法改正を急げ。」と檄を飛ばしました。

なおマッカーサーは憲法草案の基調となる3原則のメモを民政局員に渡しましたが、それには①天皇元首の地位にあり、皇位は世襲される。②天皇の職務及び権限は国民の基本的意思によるものとする。③国権の発動である紛争解決のための戦争及び自己の安全を保持するための戦争は破棄する…とありました。

この日から民政局員全員が不眠不休で取組、2月12日には憲法草案をマッカーサーに提出することが出来ました。

2月13日大臣公邸でN GHQの憲法草案を受け取った吉田茂さんはそれを翻訳したあと、改めてGHQと協議した上で国会の審議にかけ、

新憲法を公布しております。

なお戦争犯罪者の逮捕勅令は昭和20年9月から21年4月まで実施されました。そこでA級戦犯容疑者は103名に達しましたが、起訴を免れた者は次々に釈放され、最後にA級戦犯容疑者として28名が残りました。(一説には35名、38名、39名)

戦犯といえば、ソ連やイギリスから天皇を戦犯の筆頭にあげると再三にわたって申し入れがありましたが、仮に天皇を戦犯で起訴し重刑にしょせられれば日本中に軍政を敷かねばならず、少なくとも100万の将兵をゲリラ戦に投入することになるとマッカーサーは予想し、両国の提案は無視しました。

マッカーサーの幕僚たちは事あるごとに占領政策の具体化について協議しましたが、その一つは天皇を招いてマッカーサーの膝元に頭を下げさせ「城下の盟(ちぎり)」をさせよと言うことでした。これに対してマッカーサーは「天皇ヒロヒトは総帥であると同時に日本の統治者である。城下の盟を軽々しく求めてはならない。天皇はきっとやって来る。それまで待とう」と諫めました。

マッカーサーが厚木基地に進駐する一日前の8月29日のことですが、天皇は心の奥を木戸内府に打ち明けて言われました事は「私は天皇を降りるべきではないのか、そうすれば戦争責任者を連合国に引き渡さずに済ませられるかも知れない。」と言う事でした。

内府は驚いて「もし今、陛下が自ら退位を仰せ出られる様なことがあれば、皇室並びに天皇制の基礎がゆらぎます。どうか慎重にご判断下さい。」と申し上げました。この事は天皇とマッカーサーの初対面の時まで尾を引くことになります。

その後占領体制もどうやら軌道に乗りつつあった時分のことですが、天皇はポツダム宣言受諾や無条件降伏などによって、新たな苦悩に迫られたと同じように、マッカーサーも当然の様に連合軍最高司令官に任命されたことにより新たな苦悩にさいなまれました。

それは「いつ、どこで、どの様にして敵将と会うか」でした。しかし吉田茂外務大臣が就任の挨拶のためにマッカーサーを訪ねた折に「陛下は閣下を訪問したいというお気持ちですが、閣下はいかがお考えですか」と聞いた処「日本への進駐がスムーズに進んだのは天皇の協力のおかげだと思う。訪問されるなら喜んでお迎えする。」という快諾を得ました。そこで天皇とマッカーサーの初会見の日が9月27日、場所は駐日アメリカ大使館と決めら

れました。当日天皇は無辜の民のためならば自分はどんな犠牲も厭わぬ覚悟をきめられたご様子で、深刻な表情で御文庫の玄関を出られ、皇后は顔をこわばらせ言葉もなく見送られました。

天皇は車中で心に決するものがあったせいか待従長の藤田尚徳(ふじたただのり)には一言のお言葉もなく肅々と廃墟の街を通り過ぎ、朝10時少し前、目指す赤坂区榎坂町のアメリカ大使館の公邸玄関に到着し、迎賓館に通されましたが、その時にマッカーサーが大きな感動にゆさぶられたと述べているのは天皇の次の言葉でした。

「私は戦争遂行にあたって政治軍事両面で行った全ての決定と行動に対する全責任を負います。なお自分自身の運命について貴下の判断がいか様なものであろうとも、それは自分には問題ではなく、私は全責任を負うつもりです。」

この天皇のお言葉に感動したマッカーサーはこの様に言っております。「もしかすれば、死を伴うほどの責任、それも明らかに天皇に帰すべきでない責任までを引き受けようとするこの勇氣に満ちた態度は私の骨の髄までを揺り動かした。しかも天皇が命乞いに来たのではないかと言う先入観も完全に吹き飛ばしてくれました。」

この様なことで天皇とマッカーサー共に心のうちを開いたため、予定の20分を超え対談は35分に及びました。お二人は仇敵として会い、親友として別れました。その後対談は11回を重ね、時には3時間に及ぶこともありました。

どういふ話題があったかと言いますと、明治38年10月日本に観戦武官として派遣されている父親アーサーのところへ行けというダグラスマッカーサーへ勅令がくだりました。もとより日露戦争は数か月前に終わっておりましたが、戦場に赴むいた人たちを尋ねて戦況を聞くことが目的でしたので、大山巖、乃木希典、東郷平八郎などの不動の信念をもった表情のきびしい無口な近づきがたい司令官たちに全員会った。これらの人達の上皇(明治)への信頼と尊敬の態度から永久に消えることのない感銘を受けたと言っておりますので、その様な話に花を咲かせたのではないかと思います。

その後起きた異変としては、昭和21年5月1日のメーデーは11年ぶりの復活メーデーで50万人の労働者が皇居前に集まりました。スローガンは「民主人民政府の樹立」と共に

「食糧の人民管理」などでしたが、この時国民の殆どは飢えてました。

政府は国民一人に一日茶碗二杯分の主食を配給していましたが、主食といってもお米はほんの僅かで、大根、人参、さつまいもなどを加えたものでしたので、国民はバタバタ栄養失調で精気を失いました。このため、規則を守り、闇米を買わずに生きてきた東京地裁判事の山口良忠さんは遂に22年までもたずに死んでいきました。

こんななか5月19日、またも労働者25万人が宮城前広場に集まり、デモ隊の一部は宮城になだれ込んで皇居の台所を検分したり、政府や役所に「米よこせ」の波状攻撃をかけたりましたので、マッカーサーはデモ隊を占領軍の権力で追い散らして鎮圧しましたが、同時に連合軍の手持ち小麦粉の放出を全国の進駐軍に命令しました。

この時「一千万人餓死説」を政府も国民も信じていましたが、この様な食糧危機がより深刻になったのは外地から650万人の軍人や引き揚げ邦人が加わったことにもよります。

この時の首相吉田茂さんはマッカーサーを訪ね450万トンの食糧が足りない、このままで多数の餓死者がでると輸入食糧放出の増加を陳情したのは言うまでもありません。

処で、人の幸運と不運は波濤のように次々に襲来するもので、二度とない戦火がまたあがりました。昭和25年6月25日朝鮮半島でこの日の早朝、北の朝鮮人民軍の大軍が38度線を突破して南の韓国になだれ進攻してきました。マッカーサーは勝機に乗り、戦線を拡大して中国との国境である鴨緑江まで北朝鮮軍を追い詰めました。トルーマンはここで中共軍は参戦するかと尋ねましたが、マッカーサーは否定し、アメリカ軍はクリスマスまでに日本に帰りますと答えました。10月31日、案に相異して中共軍18万の大軍が鴨緑江を渡って南下してきましたので、危局打開ために中共本土の爆撃の許可をトルーマンに申し入れましたが、それに対する回答はマッカーサーに対する解任通告でした。

これはイギリス政府の要請もあり、戦線の拡大を避けるべくトルーマンが動いたためだとしか考えられません。

「マッカーサーを罷免さる」昭和26年4月11日午後4時、天皇はこの臨時ニュースを側近から知らされて、青天の霹靂という言葉ではとても言い表せない衝撃を受け、胸が裂かれる様な痛みを心に感じました。天皇はしばし呆然として誤報であってくればよいと心に念じましたが、その期待は虚しいものでした。

マッカーサーの解任には、日本国民は驚愕しました。マッカーサーは新しい支配者というよりも救国者として威厳の中にも国民に対する愛情をもって戦後の飢餓を救い数々の民主的改革をプレゼントしてきました。日本国民もこれにこたえ、一見近寄りたたいマッカーサーにマックの愛称を口にして親しみをかかっていた。各新聞社はこぞって日本国民の悲しみを代弁し、ともにマックの解任に怒り、泣きました。

天皇は昭和26年4月15日午前10時、アメリカ大使館を訪問されましたが、二人が交された言葉は今までのように世界を語り、人類の平和を憂え、そして日本国民の再建と幸福を願う数々の言葉ではなく、昭和20年8月30日から26年4月16日までの5年8ヶ月のお互いの友情を感謝し、健康を気遣う労わりの言葉でした。

そしていつもより短い会見が閉めくくられたのは「ごきげんよう」「グッドバイ」と短い憂愁の思いをこめたお別れの言葉でした。

マッカーサーは昭和26年4月16日天皇の名代で侍従長三谷隆信の見送りと沿道20数万人の熱烈な歓送の声を背に愛機パターン号で羽田空港をあとにしました。誰もがもう少しマッカーサーに居て貰いたかったでそうが、日本をはなれて5ヶ月あとの昭和26年9月8日サンフランシスコのオペラハウスで行われた対日講和調印式と同日アメリカ第6軍基地内で日米安保条約の調印が吉田茂首相ひとりによって行われました。

講和条約や安保条約が彼が単独で署名したことでも分る通り、責任の所在をいつも明らかにしておりました。しかも日本人の生活の維持と日本経済の復興が吉田さんの双肩にかかっており、どうすれば占領軍との意見調整の上、日本の進路を決めていくか、6年と言う長い間の確固たる決断と信念の固さが独善ぶり頑固さに現れていたのだと思います。

例えば講演中にコップの水をカメラマンにぶっかけたり、国会質疑中に社会党員を馬鹿野郎と言ったり、戸塚駅の北側にあった「開かずの踏切」を嫌って新しい道路を作らせたりしましたが、吉田さんの脳裏に占めていたことは、日本を再び強力な国家として維持しようとする夢をいつも忘れることが出来なかったため、毀誉褒貶にこだわらなかったのだと思います。

## ■次週の卓話

「なつかしき神中線」吉原会員

週報担当 内田 敏